

性問題行動は性欲に基づくもの ⇒”誤りです”

性を通じて表現された依存、接触、攻撃、支配欲求であり、一般の性的満足とは異なります。性欲を何とかすれば収まるというものではありません。

性問題行動は抑え難い欲求による衝動的でコントロール不能なもの ⇒”誤りです”

交番の前で性犯罪をする加害者がいないように、性加害行動は意図的に被害者と状況を選んだ「一定の目的にかなった行動」です。(衝動性全般に問題を抱える人を除きます。)

見つかった性犯罪が初めてである ⇒”誤りです”

1人の性犯罪者は生涯に380人の被害者を出すという試算もあります。性問題行動は、最初は失敗したとしても、より手口を洗練させていき、事実が判明するころにはかなり慣れた状態となります。



少年の性犯罪は「子どものいたずら」でそれほど深刻ではなく、大人になればやらなくなるだろう ⇒”誤りです”

後述のような健全な性の試みであればいいですが、相手の同意を欠き、弱い者や幼い子どもを対象にしているものは注意が必要です。

相手の気持ちを考えずこんなひどいことができるなんて何か欠けている。将来繰り返すのではないかな ⇒”誤りです”

青少年は改善の可能性が高いことから、大人の性犯罪者と異なる部分が多いので(攻撃性、他の犯罪率など)、そのままの状態で成長するとは言えません。適切な処遇(専門機関の介入による支援等)を受けた少年の性犯罪再犯率は低いという統計があります。ただし、他の非行もある場合は注意が必要です。

同性への性加害があった。同性愛なのか ⇒”誤りです”

自分の周りにいて、行為に参加しやすい子どもを選ぶだけであり、同性というほうが心地よいことを意味していても、必ずしも同性愛ということではありません。また、同性愛者等のLGBT(性的少数者)であったとしても、性問題行動への対応は偏見なく行うことが求められます。



思春期の衝動は他のことで発散だ!愛情をもって育てればそんなことはなくなる

⇒”誤りです”

性問題行動は性的欲求のみの問題ではなく、学習された暴力です。むしろ他のことでの発散を強要される環境自体が大人からの暴力になってしまう(被害の蓄積)こともあります。

また、愛着の形成は重要ですが、暴力の「脱学習」とは別のものです。並行して行う必要があります。

被害者の気持ちを理解できていないのではないか。被害者の気持ちを教え込めばなくなる

⇒”誤りです”

被害者の気持ちを最初に伝えても委縮するか、うんざりして「もうしません」と機械的な反応になるだけです。自分の感情や考えを自覚し、痛みを感じられるようにならなければ被害者の気持ち(加害行為による直接的な被害だけではなく、被害を受けたことに対する精神的ショックや、周囲の人の無理解や偏見等による二次被害も含めて)は「本当の意味では」分かりません。



(3) 性問題行動の基本的理解

○ 性問題行動は性的な興味や欲求のみに基づく行動ではありません

健全な性行動を通して、性的な興味や欲求を満たそうとすることは問題ありませんが、性問題行動のように不適切な方法を何度も繰り返してしまう場合は、性的な興味や欲求だけではなく、別の何かが目的となっている(例:ストレス解消、気分転換、攻撃や支配欲求の充足など)場合があります。

性問題行動で目的を満たすことが習慣化すると、似たような状況や気持ちのときにも繰り返すようになります。また、習慣化した行動は自分で意識しにくいことも多いため、コントロールが難しく、自然には(放っておいては)改善しづらいとも言われています。



○ 性暴力(性加害)について

性問題行動の中でも、以下の3つの要素があり、被害者が存在するものを性暴力(性加害)といいます。

① 同意がない

同意とは、単純なイエス、ノーではなく、互いに“何をして”、“どうなるか”を正確に理解し、断っても問題のない関係性の中で同意することです。

② 対等性がない

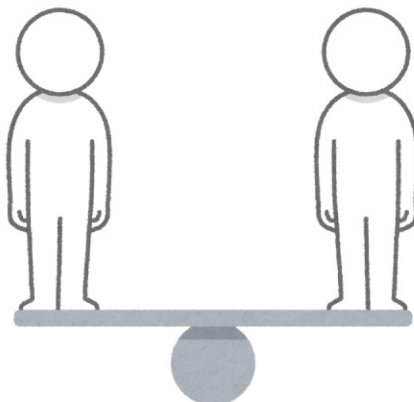
対等性とは、年齢や体格、知的能力などの面で大きな差がないことです。

③ 強要性がある

強要性とは、おどしや暴力だけでなく、わいろや報酬などを用いて相手が断れない状況を作ることです。

性暴力は性行動を用いた“暴力”です。 基本的なメカニズムは性問題行動と共通しますが、性的な面だけでなく、暴力の面にも注目する必要があります。

相手との間で「同意なし」、「対等性なし」、「強要性あり」の条件のもとで関係を持つことは暴力であり、暴力に頼って関係構築しようとする人は、その人自身が暴力にさらされる経験を通して学び、身につけてきたものと考えられます。



○ 専門機関による支援について

大人、子どもに関わらず「同意あり」、「対等性あり」、「強要性なし」の条件を満たした対人関係を体験していくことがとても大切です。

状況に応じて、性問題行動の変化にターゲットを絞った、専門機関の介入による支援を受ける必要があります。

